【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【公開番号】特開2007-128042(P2007-128042A)
【公開日】平成19年5月24日(2007.5.24)
【年通号数】公開・登録公報2007-019
【出願番号】特願2006-217930(P2006-217930)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/30　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13357　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1335　(2006.01)
Ｆ２１Ｖ　8/00　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ 103/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/30
Ｇ０２Ｆ　1/13357
Ｇ０２Ｆ　1/1335　５１０
Ｆ２１Ｖ　8/00　６０１Ａ
Ｆ２１Ｙ 103:00

【手続補正書】
【提出日】平成21年8月3日(2009.8.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
偏光性液晶フィルムにおいて、
接着層と、
前記接着層の一方の面に配向された液晶層と、
前記液晶層を保護するために、前記接着層の他方の面に配置される保護フィルムと、
を含むことを特徴とする偏光性液晶フィルム。
【請求項２】
前記接着層は接着シートであり、前記液晶層は前記接着層の一方の面に配向され、前記保護フィルムは前記接着シートの他方の面に配置されることを特徴とする請求項１に記載の偏光性液晶フィルム。
【請求項３】
前記液晶層は、液晶ポリマーを含むことを特徴とする請求項１に記載の偏光性液晶フィルム。
【請求項４】
前記接着層は、両面接着シートであることを特徴とする請求項１に記載の偏光性液晶フィルム。
【請求項５】
前記接着層は、等方性物質を含むことを特徴とする請求項１に記載の偏光性液晶フィルム。
【請求項６】
前記接着層は、透明性物質を含むことを特徴とする請求項１に記載の偏光性液晶フィル

ム。
【請求項７】
前記保護フィルムは、トリアセチルセルロース（ＴＡＣ）を含むことを特徴とする請求項１に記載の偏光性液晶フィルム。
【請求項８】
偏光性液晶フィルム一体型導光板と、
前記導光板の少なくとも一方の面に配置された少なくとも１つの光源と、
を含み、
前記偏光性液晶フィルムは、接着層と、前記接着層の一方の面に配向された液晶層及び前記液晶層を保護するために、前記接着層の他方の面に配置される保護フィルムとを含み、
前記偏光性液晶フィルムは、前記導光板の光出射面の上に配置されることを特徴とするバックライトユニット。
【請求項９】
前記偏光性液晶フィルムは、前記導光板の光出射面の上に圧着されて一体に形成されることを特徴とする請求項８に記載のバックライトユニット。
【請求項１０】
前記導光板の光出射面の上には、出射光を集光するための多数のプリズムが形成されることを特徴とする請求項８に記載のバックライトユニット。